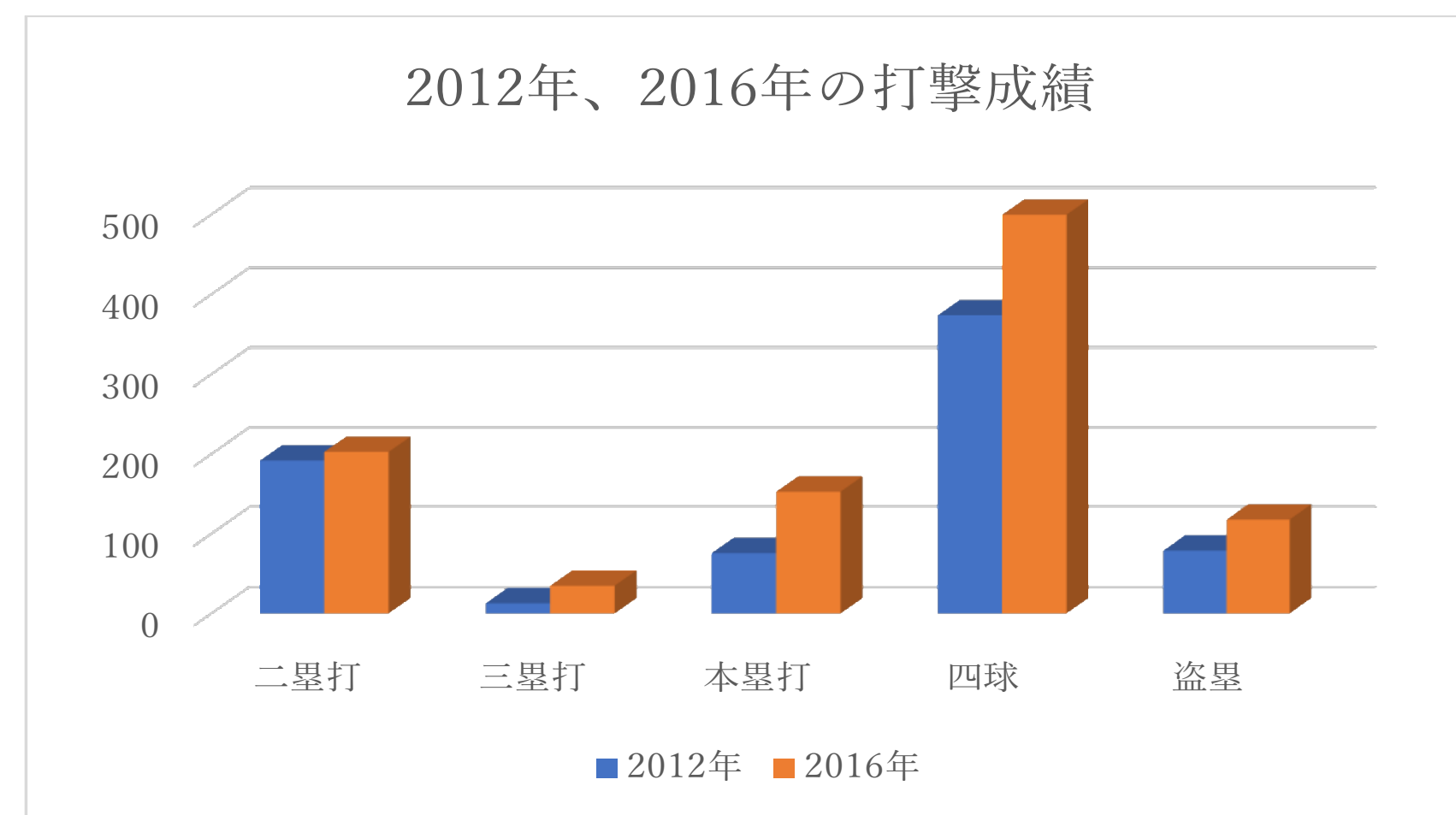


広島カープが4年で順位を4上げて25年ぶりにリーグ優勝した話

2012年、広島東洋カープはリーグ4位とずっと低迷してきた。しかし、2016年カープはリーグ1位を勝ち取ることができた。その理由を分析していく。



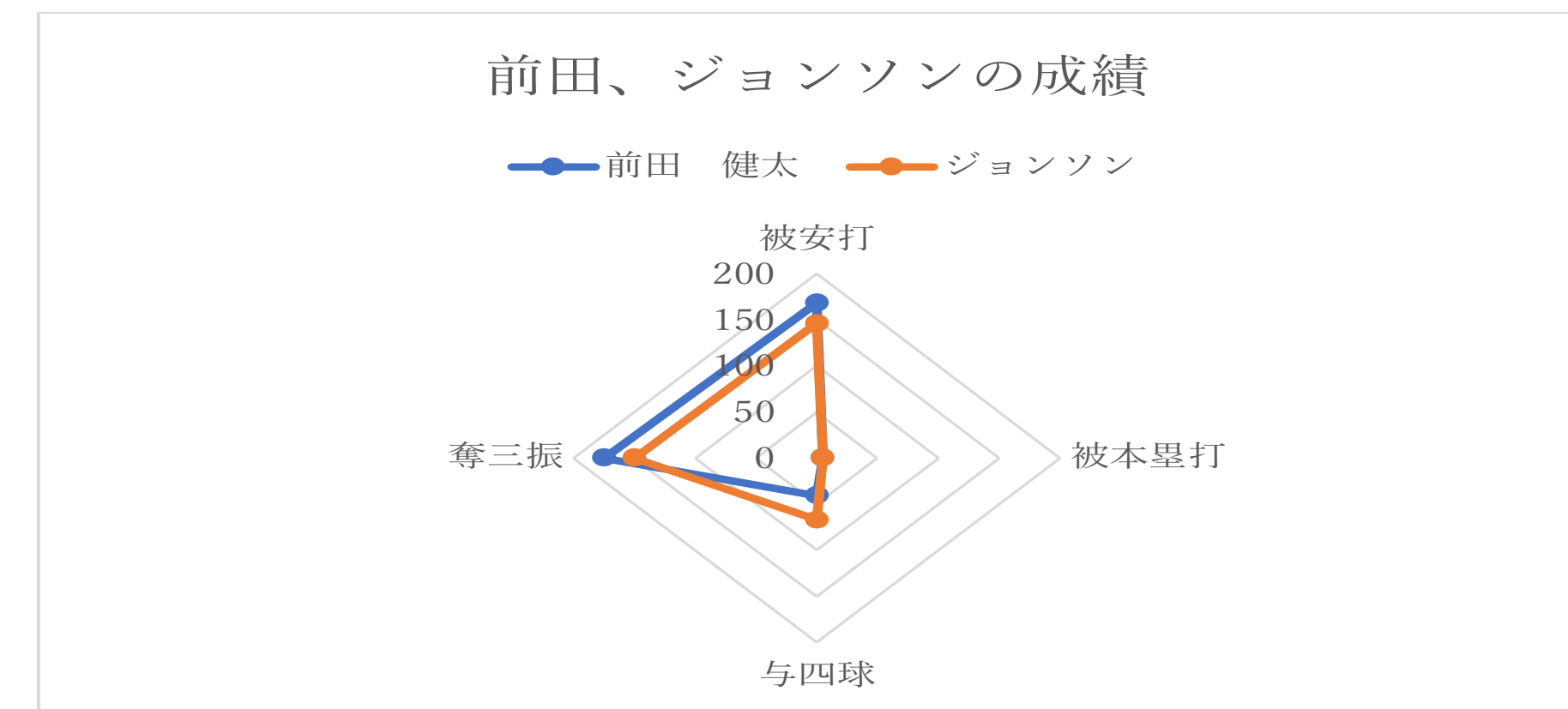
【読み取り】

- 2012年から2016年にかけてどれも成績が上がっている。…①
- 特に四球を選ぶことが多くなっている。…②
- 本塁打や三塁打の2016年の成績は2012年の成績の約2倍である。…③
- 二塁打の成績はこの4年あまり変わっていない。

優勝できた理由

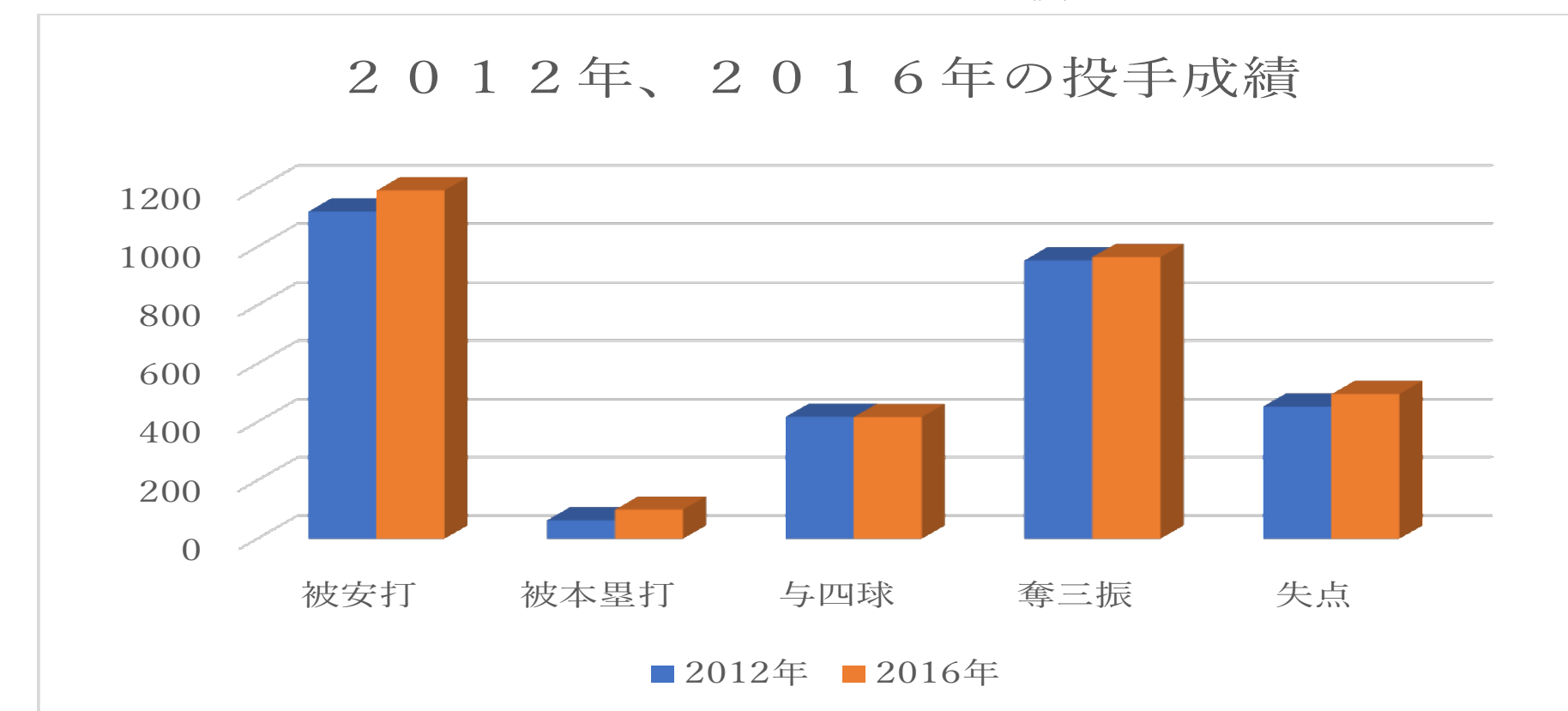
- ① 特に足技の盗塁では分かることとして足の速い選手がスタメンに選ばれている。それは若手が成長しスタメンに増え始めたからではないかと考えられる。＝チャンスの際の増加
- ② ①より普通若手が多くなるとどうしても打ちたがる選手は多い。しかしこの場合出塁することを第一に考えていることがわかる。＝出塁率の増加による投手へのプレッシャー
- ③ 三塁打や本塁打は長打であり打つにはそれなりの力がある。広島カープの場合、若手をよく使い若手を育てるのが上手いのではないかと考えられる。＝若手の育成力

Q なぜエースの前田健太が移籍したのにも関わらず2016年リーグ優勝できたのか。



① 助外国人ジョンソン

左のグラフよりジョンソンが前田の成績より良い。前田が移籍したのは2015年、同年ジョンソンもカープに加わった。＝前田の成績をジョンソンがカバー



【読み取り】

- 被安打や被本塁打の数が多いわりに失点が少ない。…①
- 奪三振の数が多くなっている。…②

- ① チームの方針的に打たせて取る守備の仕方をしている。ゴールデングラブ賞をとっている菊池がセカンドにいるためこれが成り立っていると考えられる。＝守備の堅さ
- ② 2012年はなかなか芽が出なかった中崎が2015年ほどから守護神として最後試合を締めくくる役割として出できたためでないかと考えられる。＝勝利パターンの形成

【まとめと感想】

広島カープを分析してみたたった3つのグラフだけで6個の強さの秘密が出て来るとは思わなかった。カープはデータを見てとてもチーム力があると思った。お互いをカバーしてることが重要だと思った。